

Contents

「DX REPORT 2024」の発行にあたって	02
JFEグループのDXを活用した社会課題に対する取り組み	03
鉄鋼事業	07
エンジニアリング事業	11
商社事業	15
セキュリティ対応	17

DX推進のトップランナーとして、 サステナブル社会に向けた新たな価値を提供します

本年度はJFEホールディングスが2021年度に策定した第7次中期経営計画（以下、7次中期）の最終年度にあたります。7次中期では、社会の持続的発展と人々の安全で快適な生活のために「なくてはならない」存在としての地位を確立すべく、重要な経営戦略と位置づけたDX戦略をグループ全体で取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。来年度からスタートする第8次中期経営計画においてもDXを事業競争力強化戦略の中心に据え、より一層推進していく所存です。

当社グループのDX推進における最大の強みは、鉄鋼、エンジニアリング、商社事業の中で長年蓄積した膨大なデータやノウハウです。これらは他社が容易に真似ることのできない貴重な財産であり、世界最高水準の技術で社会を支える当社の価値創造の源泉です。この無形資産とAI、IoT、データサイエンス等の最先端の技術を組み合わせることで、これまでに構築したCPS^{※1}やGRC^{※2}といったデジタルプラットフォームやコア技術を活用したさまざまな商品が生み出されており、当社のDX関連ビジネスは年々拡大しています。

また、高度化するサイバー攻撃や情報漏洩リスクへの対策についても「JFE-SIRT^{※3}」を中心にグループ一体となって推進しており、本年度はセキュリティに関する新会社も設立いたしました。

これらの具体的な取り組み内容を本レポートでご紹介しています。本レポートが皆様にとって有益な情報となり、当社グループのDX施策に関するご理解を深めていただく一助になれば幸いです。



JFEホールディングス株式会社

専務執行役員

田中 利弘

※1 CPS：Cyber Physical System（P.7～鉄鋼事業ページ参照）

※2 GRC：Global Remote Center（JFEエンジニアリング横浜本社にある遠隔監視拠点）

※3 JFE-SIRT：JFE Security Integration and Response Team（P.17～セキュリティ対応ページ参照）



「DX銘柄2024」に選定

経済産業省、東京証券取引所、独立行政法人情報処理推進機構が、上場企業約3,800社の中から選定する「デジタルトランスフォーメーション銘柄2024（DX銘柄2024）」の25社の中に、業界内で唯一選ばれています。2015年に前身の「攻めのIT銘柄」が開始されて以降、当社の本銘柄への選定は9回目^{*}となりました。

※2023年は「DX注目企業」として選定



選定実績	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2023	2024
DX銘柄 Digital Transformation	●	●	●	●	●	●	●		●
DX注目企業 Digital Transformation	(評価制度なし)							●	

※2019年以前の名称：「攻めのIT経営銘柄」「IT経営注目企業」

免責事項

本レポートに記載されている当社の現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、リスクや不確定な要素を含んでいます。そのため、実際の業績につきましては、今後の世界経済、日本経済や関連する業界の動向等のさまざまな要因により、本レポートに掲載されている見通しと大きく異なる結果となることとあります。

従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんので、ご承知ください。

JFEグループのDX戦略

第7次中期経営計画（21～24年度）の取り組み

- DXを積極的に推進し、収益力の向上・成長戦略の実現・ビジネスモデルの高度化につなげる
- DX投資 1,200億円程度/4ヵ年
⇒21-23年度実績 意思決定83%

事業別戦略

JFEスチール

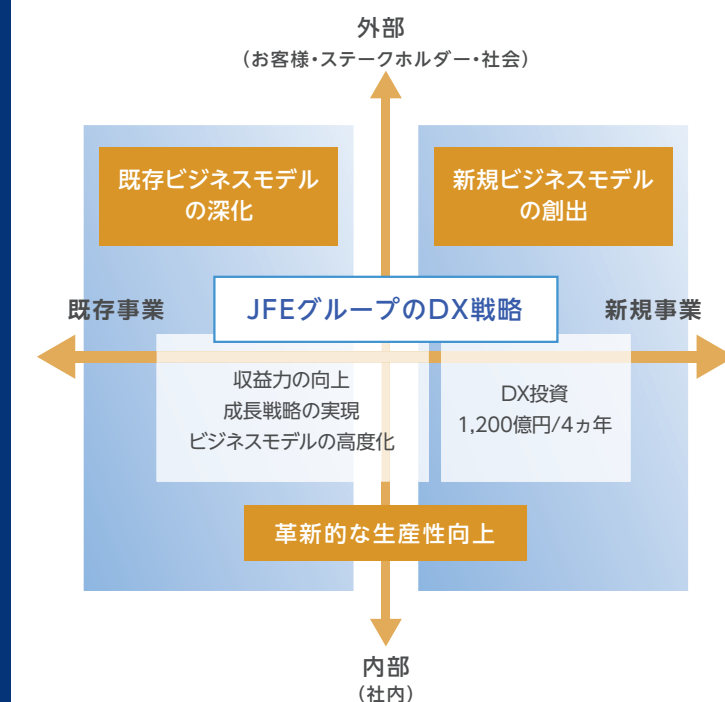
データの高度活用により競争優位を確立

JFEエンジニアリング

さらなるデータ活用による抜本的業務改革やデジタルサービス提供

JFE商事

DXソリューションの外販やグループ内活用により事業を創出



出典：経済産業省DX調査事務局『「DX銘柄2023」選定企業レポート』をもとに作成